

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科		園芸学専攻	
科目名称 [英語名称]	東洋庭園学特論Ⅱ [Special Lecture on Oriental Garden 2]			実務経験 教員担当		アクティブ ラーニング	○
科目コード	642512	授業形態	講義	単位数	2	配当学年	2年次
教員氏名	関西 剛康			学位授与の方針 との関連	修士課程DP1, 2		
授業概要	東アジアにおいて理想郷を表現した庭園文化は、中国大陸で発展して朝鮮半島へと広がり、そして日本へと伝播してきました。そのなかで、東アジアの各地域と各時代によって発展を続けて現在に至っています。この授業では、東アジア圏(中国・韓国・日本)における庭園を取り上げ、その歴史や変遷から、その成立背景となる思想文化や社会状況の理解を深め、高度な専門的知識の修得を図ります。						
関連する科目	「東洋庭園学特論Ⅰ」「造園計画特別演習」						
授業の進め方と方法	基本的に授業は、アクティブラーニング方式によって実施して行きます。毎回の授業構成は以下のとおりです。授業前半は講義をします。【学術・知識のインプット】授業後半は、グループ学習、ディスカッションや課題発表(問題解決学習、プレゼンテーション)等を行います。【学術・知識の醸成とアウトプット】						
授業計画	<p>第01回: 東洋庭園学特論Ⅱの概要説明と心得 講義全体の概要、評価方法について説明する。</p> <p>第02回: 東アジア圏における庭園文化の流れ 東アジア圏の庭園文化学の特徴について学ぶ。</p> <p>第03回: 周時代までの庭園文化 第04回: 秦・漢時代の庭園文化 第05回: 三国・南北朝時代の庭園文化 中国の庭園文化について学ぶ。</p> <p>第06回: 古代朝鮮の庭園文化の概要 第07回: 百済の庭園文化 第08回: 新羅の庭園文化 朝鮮の庭園について学ぶ。</p> <p>第09回: 古代日本の庭園文化への影響 第10回: 中世日本の庭園文化への影響 第11回: 近世日本の庭園文化への影響 日本の庭園文化について学ぶ。</p> <p>第12回: 東アジア圏における庭園文化の黎明と発展 第13回: 東アジア圏における庭園文化の伝播と変遷 第14回: 東アジア圏における庭園文化の融合と背景 第15回: 東アジア圏における庭園文化の現在と未来 東アジア圏の庭園文化の形成背景について学ぶ。</p>						
授業の到達目標	東アジア圏の庭園文化について、その発祥からどう展開し、各地でどう発展したかを熟知することで、グローバルな視野で理解することを到達目標とします。						
授業時間外の学修	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業で配布する学術論文ならびに専門図書等を授業前に精読しておくこと。</li> <li>2. 授業後にさらに理解を深めるために再度精読すること。</li> <li>3. 大学院の授業であるため、事前に参考となる研究資料を準備しておくこと。</li> <li>4. 予習復習は1時間程度行うこと。</li> </ol>						
課題に対するフィードバック	レポートは評価後、返却期間をもうけて返却ならびに解説をします。		評価方法	発表・研究した内容に関するレポート(100点)			
テキスト	テキストは使用しないが、その代わりに適宜プリント資料を配布する。						
参考書	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 『ランドスケープ研究』日本造園学会</li> <li>2. 『庭園史をあるく』昭和堂</li> <li>3. 『見る庭園と触れる庭園』淡交社 など</li> </ol>						
備考							